

発言通告書の要旨(一般質問)

平成27年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (火)	1	14 横山 強	1、市営住宅の整備改善について	(1)今現在、危険住宅とする住宅の入居戸数を伺う。 (2)三豊市新総合計画後期基本計画に示している、老朽化した住宅に入居している住人の安全確保に基づく移住の推進施策を伺う。 (3)老朽化住宅の解体撤去となる今後の撤去数を伺う。 (4)南海地震に備えて、災害対策等考慮に入れ、市営住宅の統合建てかえを計画しているが今後に向けて、各地域の建てかえ計画施策を伺う。
			2、西香川病院について	先般6月、夜間宿直勤務による指摘事項とした、一般質問に対し、当局は、西香川病院側から、特に支障を来していない、問題ないという判断のもとで、文書による回答を求めてない、と答弁だが、支障があると思う件について伺う。 ①西香川病院管理運営基本協定に定めた、指定管理業務に支障が生じてないと言うが、夜間宿直勤務医師による管理協定に基づくサービス規定において、適正な管理運営をしてない件についての問題点を伺う。 ②サービス規定の詳細の答弁を、先般6月の上記の質問の中で、当局から、三豊・観音寺市医師会に、西香川病院施設管理委託した中で、一部の医師が、夜間業務宿直医師がサービス規定どおりの出勤しない、早退、自営の患者のカルテの業務、夜間勤務において、病室への巡回、患者の日報等の業務を怠り、宿直勤務をしているが、サービス規定と異なった行為を当局は問題ないとした答弁について、管理契約を依頼した三豊市に疑問点を伺う。 ③施設管理委託契約について、管理運営に基本協定に定めたとあるが、管理運営に関わる協定書を双方締結とするならばサービス規定は病院運営に対し不可欠の重要なものである。そのサービス規定を無視している事は、担当部長が6月の一般質問答弁で答えているが、再度お尋ねする。是正を求めるに当たって、口頭で促して、西香川病院側の是正を、口頭で聞き流す程度でよいのか。 ④是正の申し入れ、受け入れについては、当局と、西香川病院の指定管理者に対し、今回のような問題が発生したら、当局は、文書で申し入れとし、西香川病院側からも文書で是正に向けた取り組み等、重視した回答を三豊市は求めるべきではないのかを伺う。 ⑤三豊市が施設管理する西香川病院施設管理夜間勤務に対し、医師の当直用宿舎の部屋で一部の医師が夜間勤務中に、関係者外の異性を宿泊させようとしていた事実が、未遂だから問題がないと、軽視した口頭による答弁とするのかを伺う。 ⑥通告書2-⑤の質問に対し、6月の質問に対する答弁は、西香川病院の回答は想定外と、答弁の中で、特段の理由があれば認めると答弁受けたが、特段の理由を伺う。
	2	16 鴨田 借	1、合併10周年について	記念行事及び記念事業についてどのように考えているのか伺う。
			2、市内幼・小中学校の遊具の点検と設置について	市内学校に設置されている遊具等の傷みが激しいようである。検証と設置替えをどのように考えているのか伺う。
			3、健康福祉部の執務スペースの移転について	危機管理センターの1階部分に移転してはどうか伺う。
	3	19 城中利文	1、子育てするなら三豊が一番	(1)保育所のゼロ歳児58名、1歳児5名の待機児童の対応について。 (2)「こども園」の設立について。
			2、インターネットオークション	統合あるいは取り壊し予定の公共施設の既存物及び備品、処分予定の公用車、バイク等、また、差し押さえ物件の器具備品等の用途について。
			3、一般住宅リフォーム補助金	(1)今後の実施予定及び予算が余った場合の対処について。 (2)ヒートショックを防ぐための断熱施工に対する補助金について。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成27年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (火)	4	9 浜口恭行	1、高齢者の地方移住について	高齢者の地方移住については、日本版CCRC構想が動き出している。三豊市の将来的な対応・方針や、サービス付高齢者住宅の拡充について市長の見解を聞く。
			2、公立保育所の民営化について	公立保育所の民営化について、以下の当局の考えを聞く。 ①今後のスケジュールと基本方針 ②民営化を急ぐ理由 ③保育士不足の解消 ④セーフティーネットの考え方
	5	10 丸戸研二	1、三豊鳥坂ハーフインターチェンジのフルインター化について	(1) 交通インフラの核として、フルインター化に取り組むべきではないか。 (2) 市の振興計画に位置づけて取り組むことが必要ではないか。 (3) 地元産業・経済界との連携体制を確立することが必要でないか。 (4) 今後の取り組み方針と見通しを示していただきたい。
			2、廃止された小学校の再利用策について	(1) 市民説明会の状況と課題 (2) 土地の貸借状態にどう対処するのか。 (3) 地元感情に寄り添う手法はないか。 (4) 28年4月1日の状態をどう考えているのか。
			3、中山間地域の活性化について	(1) 中山間地域の現状と近い将来をどう捉えているか。 (2) 移住政策が必要ではないか。 (3) 農業に夢を持つ者を受け入れる政策を検討してはどうか。 (4) 28年、29年におけるモデル事業を導入できないか。
	9/9 (水)	6	4 石井勢三	1、2025年問題について、三豊市の今後の対応について
2、空き家対策特別措置法が成立しているが、三豊市の現状と対策について				平成26年11月「空き家対策の推進に関する特別措置法」が成立し公布され、今年5月より全面施行された。市としては、今後の空き家対策として市民への周知と指導についてどう考えているのか伺いたい。空き家対策計画の作成や組織づくり、関連団体との連携、空き家の実態調査、所有者の特定と聞き取り調査、空き家の判定とデータベース化など、空き家対策を任される市にとって負担は大きいと考えるが、見解を伺う。
7		7 西山彰人	1、市民の意見反映について	保育所の指定管理移行に際しての市民の意見をどのように聞き、賛成と判断したのか伺う。
			2、給食センターの備品購入について	給食調理にかかわる備品の購入や設置時に、現場で働く職員の意見反映はどのようになっているのか。
			3、指定管理について	多くの施設で指定管理を行っているが、悪くなったとの声を聞く施設もあるがその功罪をどのように考えているか。
			4、6月一般質問での答弁保留の案件について	「介護保険課の人員配置」、「保育所の保護者説明会の内容」、「生活コーディネーターの現況」について伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成27年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨	
9/9 (水)	8	8 瀧本文子	1、「戦争と平和」の取り組みについて	戦後70年に合わせ、市が企画した講演会に、千人の市民が集った。詫間海軍航空隊の話を知った方も多かったと思う。戦争体験者が減少し、証言やその歴史が消えていくのは忍びないことである。また子供らの世代へ、戦争の悲惨さを伝えていかなければならない。「戦争と平和」をテーマに、今後継続的な企画、取り組みを提案したいと思うが、考えをお聞きする。	
			2、子どもの貧困について	2014年1月、「子どもの貧困対策法」が施行され、8月には「大綱」が閣議決定されている。貧困問題は社会的に解決すべき課題であって、子供の将来が、生まれ育った環境に左右されず、貧困が世代を超えて連鎖することがないよう、国や地方公共団体は教育や生活の支援を行っていくことが、定められている。貧困対策について、三豊市の現状と課題、対策・取り組みについて伺う。	
			3、男女共同参画推進の取り組みについて	(1)「三豊市男女共同参画推進条例」は来年4月施行に向けて、協議に入っているとお聞きしている。市民参画、市民の声が反映された内容となるよう、当初から要望してきたが、市民意識を高める意味からも、市民の意見を聞く機会を設定するよう提案する。 (2)参画プランの「政策・方針決定過程への女性参画の拡大」(重点目標3)について、目標達成に向けて、その進捗状況と今後の課題について伺う。	
	9	2 込山文吉	1、三豊市総合戦略策定について	(1)総合戦略会議の三豊市人口ビジョンについて現状をどのように分析されているのか。 ①RESASを見ると社会減は改善していないと思う。新たな定住事業が必要ではないか。 ②数々の子育て支援事業も特殊出生率に影響していない。原因をどう分析されているのか。 (2)地方創生関連2法が成立した。改正地域再生法では東京から地方にオフィスを移転したり、地方にある企業の本社機能を強化した場合に、法人税を軽減する特例措置を盛り込んでいる。企業誘致の弾みになるよう創意工夫が必要と考えるが、市長の考えを聞く。 (3)地方創生「新型交付金」の基本方針が発表された。 ①新型交付金が使えるのは「先駆的な事業」に限られる。「先駆的な事業」の取り組みと認識を聞く。 ②日本創成会議の提言により日本版CCRCが注目されている。戦略会議でCCRCの取り組みはどのような議論になったのか。市長の考えもお聞きする。	
			2、マイナンバー制度周知について	10月よりマイナンバーが施行され通知カードが住民票の住所に配布される。DVやストーカー行為等で住所以外の居所の方、長期間施設や病院に入所・入院されている方は9月25日までに申請をする必要がある。どのような周知をされているのか。視覚障害者・聴覚障害者、外国人への周知についてもお聞きする。	
			3、公共施設再配置計画について	公共施設再配置計画の進捗を聞く。公共施設の将来的全体像が必要と思うが、市長の考えを聞く。	
	10	1 水本真奈美	1、子ども・子育て支援制度(妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援)について	(1)子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)が全国各地に整備されることになるが、本市の取り組みについて。 (2)本市の妊娠期の相談体制、産前サポート、産後サポート、産後ケアについて。 (3)これらをワンストップで包括支援するための課題について伺う。 (4)既存のネットワークや施設活用して、コーディネートする拠点つまり子育て世代包括支援センターの整備について伺う。	
			2、消費者トラブルについて	(1)65歳以上の高齢者からの相談件数と主な相談内容と対策。 (2)未成年者の消費トラブルについての相談件数と対策。 (3)「消費者教育の推進計画」の策定について。 (4)特殊電話詐欺の現状とその対策の一つとして音声録音装置貸し出しなどについて伺う。	
	9/10 (木)	11	13 大平 敏弘	1、市役所内意識の連携は	市役所内、これからの三豊づくり意識の連携は、どのようにチーム三豊づくりが進められているのか。
				2、新教育長の所信	この機会に、三豊市教育長としての所信をお聞きしたい。
3、給食費の未払い				給食費、未納の現状と対応は。	

発言通告書の要旨(一般質問)

平成27年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/10 (木)	12	15 金子辰男	1、自治会要望書について	(1)年間提出件数は、担当課はどこが多いのか。どのような要望が多いのか。 (2)市民の要望には応えられているのか。担当課別の要望内容、対応などについて伺う。判断基準などはあるのか。
			2、新設小学校の展望を聞く	新設小学校は、各校区のさまざまな思いや期待をかかえ、地域の小学校が統合される。 (1)小学校は地域のかなめである。なので、新設小学校に寄せる期待は大きい。新設小学校は、どのような学校にしようとしているのか。その期待に沿うために工夫している点はあるのか、伺いたい。 (2)初年度の小学校の規模は全校生徒数、クラス数はどの程度なのか。 (3)また、統合により、通学路も変更になるが、安全に通学、帰宅できるような方法は完成され、各地区の人たちにも理解と協力を得られるように広報できているのか。
	13	5 岩田秀樹	1、三豊市として「平成の大合併」の検証を	住民の暮らしや地域の持続的発展の視点から行うことは大切だと思う。「自治体消滅」論や「地方創生」論が出されている時だからこそ、市町村合併の伴う財政、地域経済、地域社会、地方自治への影響を確認し、今後のあり方を展望したい。
			2、介護保険の新しい総合事業の取り組み計画は	(1)「住民による住民のためのヘルパー」育成について。 (2)地域支援事業で要支援1・2の通所介護・訪問介護の提供について。 (3)15年前介護の社会化として介護保険制度が開始された。当初はヘルパーの資格を取り住民が助け合っていた。このような取り組みについてどうか。
			3、ごみ処理場について	トンネルコンポスト方式は香川大学及び社団法人地域環境資源センターにおける技術検証結果の追記の中で「トンネルコンポスト方式を選定するにあたっては、・・・市内をはじめ近隣において産業廃棄物、事業系の一般廃棄物の収集・処理を手がける民間企業が存在することなど、千載一遇の条件が存在した。」とあり、現在の提案内容は提案時点の状況と大きく変わっているのでは。
			4、子育て支援対策としての非正規雇用対策を	若者の非正規雇用が2人に1人にまで拡大し、ワーキングプアがふえ続けている状況は、正規雇用でも多数の新卒者を採用しながら、過重労働などで次々と退職に追い込まれるというブラック企業が社会問題になっている。非正規労働者は、家族を含め将来の展望にハンディがある。非正規雇用者を正規化するために非正規雇用対策を推進する必要があるのではないか。中小企業については、従業員社会保険料負担免除にするなどの検討がなされてもよいのではないか。
	14	6 三木秀樹	1、三野町・詫間町の支所の「市民センター化」について市長に聞く	公共施設再配置計画〔2013年～2022年〕の10年間で、詫間支所周辺の整備、三野支所周辺整備の両計画が決定していることと、支所の市民センター方式化の関連及び合併特例債の活用について市長に聞く。
			2、マイナンバー制度の導入で市民にとってマイナス面に対する安全網を聞く	導入に向け9月議会でも予算化されているマイナンバー制度の導入。一度導入されると150年は個人のナンバーはついて(?)まわる。本人が死去しても生き続けるマイナンバーを誰が、何のために世界に類のないものを日本人に適用しようとするのか。国の法定受託事務で「逃げ切れない」当局に「効率化」だけで済まされない市民にとってマイナス面のセーフティーネット等の対策を聞く。
			3、新設南部給食センターの公設公営一部民間委託方式に関して	(1)委託業者が活用する施設は「全て公設」。その上管理経費、献立や食材管理、さらに給食製造責任まで市が責任を負う。委託業者は搬送と「調理」部門のみ。これで、再度聞くが民間に委託するメリットが市に本当にあるのか。子供の個々にあったアレルギー対策含めた施策をはじめ、学校給食法等は守られるのか。 (2)委託先の民間業者の「正社員になるからいいではないか」(市長いわく)と現在の非常勤職員をそこに集中配属させようとしているが、「働く人たち」の働きやすい保障等は、どのように担保するのか。